

幹本第5号「盛岡新幹線車両センターの業務執行体制の見直しについて」団体交渉を行う！！④

7. CM分油フィルター取替工具を増備すること。

会社回答「引き続き必要な環境整備は行っていく考えである。」

組合	工具を増備して欲しい。
会社	2月12日の分油フィルター取替作業に合わせて現行の工具と同じものを準備した。
組合	以前から工具増備の声は現場で出ていたが認識していたのか。
会社	工具不足の声があった認識はしていた。今体制変更に合わせて準備をした。
組合	インパクトレンチ・17mmトルクレンチが2つ無かったが、今後準備するのか？
会社	要望があれば準備をする。
組合	現場社員の声を聞き必要に応じて準備して欲しい。
会社	準備することは出来るが、工具が増えれば管理の問題も出てく。
組合	ぜひ現場社員の声を聞き作業しやすい環境を整えて欲しい。

工具の増備・管理含めて現場で議論していくことを確認！

8. 検修庫大扉が故障しているため早急に修繕を行うこと。また、老朽化により故障が発生した際の修繕が長期化しているため対策を講じること。

会社回答「引き続き状況に応じて適切に対応していく考えである。」

組合	現在、検修庫大扉が故障している認識はあるのか。
会社	故障していると現場から聞いている。
組合	修繕予定はきまっているのか。
会社	修繕が必要だと認識はあるが、予算も絡むことだから今すぐにとはならない。現在大扉の開閉は応急処置で出来ているので現行のまま対応を願いたい。
組合	一人入換時に故障した場合、対応に時間が掛かり営業列車に支障する。また、冬期に開けっ放しにしていた事で、汚物給水設備や交検車両のキャリパー凍結・前頭渡り板凍結など支障が出ている。
会社	設備修繕については、老朽化やもうすでに製造されていない部品などもありすぐに修繕と出来ない現状もある。
組合	その他にも遠赤暖房修繕しても直らない箇所があったり、詰所内 PHS 電波が繋がりに難く現場で声を上げて改善されない。 業務に支障をきたすだけでなく、安全にかかわることである。作業環境もどのように整えていくのか労使の課題だと思う。まずは大扉の故障原因をはっきりとしてほしい。
会社	現場から故障原因を聞き報告する。

作業環境をどのように整えていくのか労使の課題と認識一致！